

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		空き家活用モデル実施					所管	都市づくり部 住宅課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	198	計画事業名	空き家の適正管理及び有効活用の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 平成 27 年度		[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	東京都台東区民間住宅活用モデル事業(空き家活用モデル事業)補助金交付要綱						
	事業対象	直接の対象 : 区内に空き家を所有する者 最終的な対象 : 区内に空き家を所有する者、子育て世帯の入居者								
	事業目的	使用可能な空き家の利活用及び子育てに適した住環境の創出により定住促進を図る。								
	事業内容 [H30年度]	空き家ストックの活用及び子育てしやすい住環境を整備するため、既存の戸建て住宅の空き家を子育て世帯向けの賃貸住宅として管理することを条件に、空き家の改修工事費用の一部を補助する。								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	助成件数	件	2	0	0	0	2	0.0%	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				6,242	1,676	1,763		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				6,242	1,676	1,763		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				6,242	1,676	1,763				
課題及び今後の進め方	区内の空き家の多くは旧耐震物件であり、耐震改修工事に加え、賃貸物件として不動産市場に出すにあたってリフォーム工事が必要となり、助成を活用するには所有者の費用負担が大きくなる。利活用につながるよう、事業を検討したい。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	2	活用されていない空き家ストックを住宅として有効活用する必要性はあるが、安全で子育てに適した賃貸住宅を供給するには、耐震改修工事やリフォーム工事が必要となり所有者の費用面での負担が大きく実施に至っていない。							
	効率性	3	子育て世帯向けの賃貸住宅の修繕費を補助することで、空家の有効活用と子育て世帯に向けた住環境整備が図れる。							
	手段の適切性	2	空き家を活用するには所有者の意向が大切で、所有者にとって空き家活用に動き出すための後押しになるような支援が必要。							
目的達成度	1	空き家活用した子育て世帯向け賃貸住宅の供給には、費用負担が大きく実施に至っていない。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
空き家ストックを活用して、良質な住環境を整えることは有効だが、賃貸住宅として活用するには、所有者の費用負担、子育てに適した安全な住環境整備の両面から考えても大きな課題がある。空き家の利活用にあたっては、建物の安全性を確保する視点はもちつつ、所有者にとって活用に踏み出す後押しとなるような支援策の検討が必要である。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		